

かわさき区の宝物シート

宝物No.
8-1

たじまきょうどしりょうかん(しりつたじましようがっこう) 田島郷土資料館(市立田島小学校)

エリア	中央地区	シーズン	通年
	渡田・京町	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input checked="" type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



写真提供：市立田島小学校

所在地	川崎区渡田1-20-1
問い合わせ	市立田島小学校
TEL	044-333-8436
FAX	044-333-6175
E-mail	
URL	
交通	JR川崎駅よりバス「大島一丁目」下車徒歩3分



基礎情報

■平成5年(1993)9月に田島小学校内の教室を活用して一般公開された郷土資料館。単なる資料展示だけでなく、子供たちが資料館内で様々な学習を行って、田島の歴史を体験することができる施設にしようとして、囲炉裏と障子、襖(ふすま)のある畳部屋、竈(かまど)と流しのある土間が復元された。田島小学校同窓会と教職員による運営委員会が設けられている。

■国語や社会、生活、音楽などの授業やクラブ活動の場として利用される他、保護者や地域の方々、さらに貴重な地域学習の場として区内の他の小学校からの見学も多い。展示品の多くは児童の家庭や地域の人々から提供されたもの。

由来・エピソード

■かつて野菜や果物が豊富にとれたのどかな農村だった田島地域は、京浜工業地帯の形成・発展の過程で住宅地へと変貌してきた。やがて大空襲の被害に遭い、学校も地域も全てが焼き尽くされ「歴史はあるが歴史の見えない地域」になってしまう。そんな想いから、懐かしい渡田村・田島町を甦らせ、消失した昔のくらしや戦時下の生活を物や人を通して再現している。

■第二次大戦前後の頃のものと思われる手動ゼンマイ式のポータブル蓄音機でSPレコード盤による音楽が楽しめる。蓄音機は、日本コロムビア製(Viva-tonal Grafonola G-53)と、米軍用と思われる米シカゴ市L.M SANDWICK ASSOCIATES社製(ACOUSTICAL PHONOGRAPH D-200)の2種類があり、保存状態も良好である。

■主な展示内容

○第一資料室： 囲炉裏のある障子と襖(ふすま)の15畳の部屋、竈(かまど)と流し場のある土間。石臼挽きの体験ができる。

○第二資料室： むかしの農具、生活用具、生活娯楽用品、昭和初期田島体験学校の記録、戦時下の生活用品、学童疎開関係など。

【農具・生活関係】 鍬(くわ)、鋤(すき)、千歯こき、くるり棒、自動脱穀機、湯たんぼ、長火鉢、蓄音機 など

【戦争関係】 軍服、軍用水筒、臨時召集令状(赤紙)、千人針、軍隊手帳、慰問袋 など

【生活用品】 鍋、釜、こんろ、火鉢、おひつ、臼と杵、糸車、柳ごうり、たらい など

補足・その他

■開館時間は午前10時～午後4時、学校休校日は休館。入館料無料。事前の連絡が必要。

関連シート

(10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室
(14-4)市立殿町小学校海苔・郷土資料室
(30-1)ニッポノホン